

## 新着情報

### ❖ (公財)日本体育施設協会 屋外体育建設指針29年度改定 JGS-CC®クレイ掲載

5月に公益財団法人日本体育施設協会の出版教本である「屋外体育施設の建設指針」が改訂されました。その際、特殊針葉樹皮(JGS-CCクレイ)の舗装断面が記載されました。(頁193 図III-13 特殊針葉樹皮混合土舗装標準断面例)また昨年には、同組織による教本「屋外体育施設舗装工事積算の手引」にも掲載されました。

## 新着情報

### ❖ 国土交通省NETISに掲載継続 JGS-CC®クレイの評価更新

3月、NETISに登録されているJGS-CCクレイの評価が更新されました。NETISは、国土交通省が運用する新技術に関わる情報の共有及び提供を目的としたデータベースです。それにより、KTK-110003-AからKTK-110003-VRに評価が上がりました。引き続き、より一層のご愛顧の程、

国土交通省新技術情報システム  
NETIS登録  
登録番号 :KTK-110003-VR

## コラム

## ❖ ご存知ですか？ 話題の新技術 ラグビーワールドカップで注目のハイブリッド芝



芝床の中を模したイメージ見本(人工芝繊維に天然芝の根が絡み付くハイブリッド構造となっている)【写真提供:株式会社バルカ】

ラグビーW杯2019日本大会が近づく中、競技関係者の間で注目の技術のひとつに「ハイブリッド芝」があります。ハイブリッド芝は、ヨーロッパをはじめとする海外で開発された技術であり、「人工芝+天然芝=ハイブリッド芝」というものです。これは、天然芝の根が、横方向や地中方向に伸びながら、メッシュや人工芝に絡み付きます。そして、天然芝だけのものと比較して3倍の耐用性になるという研究結果も発表されています。限りなく天然芝に近いフィーリングでありながら、



ハイブリッド芝の一体型専用マシンで天然芝の上から人工芝繊維を打ち込む様子(ベルギー デッソスポーツ社)【写真提供:株式会社バルカ】

ラグビーなどの激しいスポーツにも痛みにくいスポーツターフを実現することができます。世界中で注目されており、前回2015年にイングランドで開催されたラグビーW杯では、13会場中9会場でハイブリッド芝が採用されました。

ハイブリッド芝は、今後のスポーツターフグラウンドで注目されている技術ですが、天然芝の育成が重要となります。弊社のJGS-CCグリーンは、ハイブリッド芝の基盤土壌にも最適な資材です。

## ❖ 事例紹介: 高校野球の聖地、阪神甲子園球場 7年間の試験施工を評価していただき、JGS-CC®グリーンが採用



2017年7月31日撮影

2017年夏、高校球児であれば誰もが憧れる阪神甲子園球場で第99回目の全国高校野球大会が開催され、今年もさまざまなドラマが生まれました。その阪神甲子園球場に土壌改良資材であるJGS-CCグリーンが使用されていることはご存知でしょうか？

弊社のJGS-CCグリーンは、土壌の物理性・化学性が改善することができ、さらには芝の根張りを良くすることで、強い芝生を育成することができます。

2009年12月、阪神甲子園球場の芝生の一部分にJGS-CCグリーンを混合した試験区を設け、経過観察を行いました。そして7年後の2016年12月から2017年1月に行われた大規模改修の際、弊社の実績が評価されて、JGS-CCグリーンを採用していただきました。

今回の採用にあたり、阪神園芸株式会社様をはじめ、様々な方よりご尽力いただきました。ご協力いただきました皆様方、ありがとうございました。



2017年7月31日撮影

## 目にも鮮やかな芝生の上でラグビーボールを追い掛ける 三洋電機(現パナソニック)ワイルドナイツ元主将・福永昇三さんが語る



ジャパンラグビートップリーグ元ワイルドナイツ主将 福永昇三さん

今でも鮮明に憶えていることがあります。

高校1年の時、岐阜県内の競技場でした。青々とした芝生。目にも鮮やかという表現は、こういう時に使うのでしょうか。フィールドに足を踏み入ると感動がより一層広がりました。芝生がフラットに刈り揃えられ、手で撫でるとフカフカの感触にうっとりしました。

思い切りプレーできる！ ケガを恐れないでタックルできる！ 立ちどころにテンションが上がり、実際に芝生の上だとプレーの精度が格段に増し、さらにアグレッシブに動き回っている自分がいました。

ラグビーは、コンタクトプレーの激しいスポーツです。フィールドが土の場合、どうしても恐怖心が芽生え、プレーが委縮してケガに繋がることがあります。それが

芝生の上で思い切りプレーできる分、良い姿勢でタックルに入れますし、タックルされた選手もすぐ起き上がり、次にプレーに入ることができます。すべてのプレーの質が向上することで選手のスキルアップに繋がります。試合もハイレベルなプレーの応酬となり、見る人に感動を与える試合ができるのです。

### 2019年ラグビーワールドカップ日本開催

2019年は日本ラグビーにとって「奇跡」の年です。ラグビーのワールドカップが、アジアで初めて日本で開催されるからです(9月20日開幕-11月2日決勝)。

日本中がラグビーの話題で溢れ返り、老若男女がラグビーの魅力に取りつかれるはずですよ。

大きな夢があります！ ワールドカップが終わった後に「ラグビーをやってみよう」と思い立った人すべてが、芝生の上でラグビーボールを思い切り追い掛ける環境整備がなされていて欲しい。そのために出来る限りの努力をしたいと思っています。



子どもたちとラグビーを楽しむ福永昇三さん

▽福永昇三(ふくなが・しょうぞう)。

1975年10月生まれ。岐阜県出身。身長190㎝、体重100㎏。関商工高で3年連続花園出場。東洋大から三洋電機に入社。トップリーグ元年(03年)に三洋電機(現パナソニック)ワイルドナイツの主将に就任。08年、09年の日本選手権を連覇。三洋電機を退社後、明治大ラグビー部コーチなどを経て15年に沖縄で総合スポーツ事業を運営するための「(株)アスリートアイランド」を設立した。

## ラグビー場での採用事例 丈夫な芝を育てる土壌改良資材としての信頼と実績



ラグビーW杯2019日本大会の出場チームが大会前に調整する「事前キャンプ地」や、大会直前から滞在する「公認キャンプ地」の誘致に向け、多くの自治体が名乗りを上げております。自治体では、出場チームを誘致するために、良好なスポーツターフを持つグラウンド整備が注目されております。

JGS-CCグリーンは、丈夫な芝生を育てるために欠かせない土壌改良資材です。ラグビー場をはじめ、スポーツターフにおけるJGS-CCグリーンの採用実績は全国各地にございます。



別府市実相寺多目的グラウンド(2017年8月17日撮影)



花園ラグビー場(2002年8月12日撮影)



豊田自動織機 刈谷グラウンド(2017年7月20日撮影)



コカ・コーラレッドパークス さわやかスポーツ広場(2002年10月3日撮影)



長崎市総合運動公園かきどまり陸上競技場(2014年10月21日撮影)